「伝統と文化を尊重し、そ

あることは否めない。

体的に討議したのであろう

郷土を愛する態度」を外国 を愛する心」や「我が国と 通の言葉があるのに、「国

たのは、米コロンビア大学

心」の健全な発露だと言っ

「郷土への愛」を「愛国

は、最大の争点だった教育 目標の「愛国心」について、

国際教養大学長 嶺雄

きが注目されるが、焦点の「愛国心」などについてどう見るか。

改正案はむしろ国民が順守

ある。

不的性格のものだったが、

に卑屈な妥協をしたとの印

ある。

与党の教育基本法改正案がまとまった。国会提出に向けた政府、

与党の動

教育関係者などに対する訓 国や地方自治体、あるいは き教育政策の基本方針とか

う基本法本来の役割を担え

が日本国憲法を支えるとい

今回の改正案では、教育

なくなることだけは確実で

与党の教育基本法改正案

に寄稿してもらった。 市川昭午国立大学財務・経営センター名誉教授と中嶋嶺雄国際教養大学長



公立大学法人国際教養大大学院修了。東京外国大大学院修了。東京外国 学理事長・学長。 193

長野県生まれ

での結論だという与党協議 も非公開で議論を続けた上 言を比べてみると、七十回

えるような気もする。 会の不毛な中身が透けて見

党と公明党の妥協の産物で に終始した感があり、自民 えた人材育成の在り方を具 にグローバル化時代を見据 本当に日本の将来を考 教育の危機を論じ、

ism)という国際的に共

きく違っている。

ティズム(Patriot 第一、愛国心にはパトリオ も再検討すべきであろう。 のであるが、本来はこの点 国心」という用語は避けた 個人の意見とは異なり、「愛 部のマスコミや時代錯誤的 象がぬぐえない。 な反対論者を意識して、 もっとも中教審自体、 无人 なっている。個人主義も民 その時代環境が根本的に異 の時代の「愛国心」とは、 時代と、戦前のファシズム が制度的に保証されてい ように個人主義と民主主義 唱える「愛国主義」とも大 や北朝鮮などの独裁国家が 主主義も欠落している中国 しかし、今日のわが国

出版であり、まさに両大戦 著「ナショナリズムについ の歴史学教授カールトン・ ての評論」は一九二六年の ヘイズであったが、その名

か。そのような本質論はそ 人に説明するのにどう訳す

私自身も中央教育審議会

年もたって今回まとまった 三年三月には中教審答申を 集中審議に加わり、二〇〇 メンバーとして約四カ月の の教育基本法特別委員会の 文言と、中教審答申の「日 出したのだが、それから三 とさして変わらぬ文言で妥 結局は三年もかけて中教審 観念や党派性にとらわれ、 っちのけで、ある種の固定 明党の対応は理解に苦しむ 協したのではないか。 特に、少数与党である公 清水幾太郎氏が早くも一九 のだろうか。 同様に感情的価値を伴う厄 言葉は、ナショナリズムと 介な概念ではあるが、亡き 確かに「愛国心」という

義を欠いている場合には大 うに、個人の自覚と民主主 いに困った存在になるので 波新書)で指摘していたよ 五〇年に名著「愛国心」(岩 じざるを得ないのだ。 ころに、政治の欺まんを感

前提があったりしたことを 味しないといった不可解な

一種の言葉の遊び

養(かんよう)」という文 会の一員としての意識の涵

く、公明党のイデオロギー 託に堂々と応えるのでな 土や国を愛する心と国際社 本の伝統・文化の尊重、郷

党で小泉政権への国民的負 ことが多く、自民党は自民 すぎないように思われる 当然のことを言っているに

「国」は統治機構を意

度を養うこと」としている。 の平和と発展に寄与する態 に、他国を尊重し、国際社会 国と郷土を愛するととも れらをはぐくんできた我が

この文言自体を読めば、

それをあえて避けていると らといっていささかも問題 心」という言葉を用いたか 平和に徹していて、 国は戦後一度も戦争をせず 義とは無関係だった。 って、ファシズムや軍国主 がないと私は思っている。 間の平和な時代のことであ